

ASIA
NETWORK
BEYOND
DESIGN
2019
KYOTO

2019年度のANBD制作テーマは「融」。東アジアの332のメッセージが作品になりました。

アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン ANBD 2019 京都展

2019年9月28日(土)～10月4日(金) 10:00～17:00 京都造形芸術大学 Galerie Aube (人間館 1F)

9月28日(土)

ANBD2019 国際シンポジウム

Kyoto Lightning Talks Symposium

13:00～ 望天館会議室 (望天館 2F) ANBD日本協会事務局に要事前申込

基調講演会「幾何学と芸術」

シュワーベ カスパー氏 (神戸芸術工科大学大学院教授)

15:30～ Galerie Aube (人間館 1F) 申込不要・参加無料

ワークショップ「『終わらない模様 - 麻の葉』」

ツツミエミコ (美術家) 午後 (適宜開催) Galerie Aube 申込不要・参加無料

オープニング 16:30～ Galerie Aube

ASIA NETWORK BEYOND DESIGN 2019 KYOTO

東アジアの新たな文化交流ステージを創出する ANBD

「ANBD(アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン)」は、東アジアの4都市で毎年アンデパンダンな国際デザイン展活動を運営しています。12年目を迎える2019年は、京都、ソウル、台北、天津の4都市で開催されます。グラフィックデザイン・写真・イラストレーション・空間デザイン・工芸などの様々なジャンルのデジタル出力作品群からは、今日の東アジアの感性とエネルギー、そしてそれぞれのアイデンティティを感じていただけるのではないかと思います。ANBDは、地域・世代・ジャンル・産学などの枠組みを超え、東アジアにおける独自のステージの創出を目指しています。

“融”をテーマとする 332 点の作品

ANBD2019 京都展は、9月28日[土]から10月4日[金]まで、京都市左京区の京都造形芸術大学キャンパスにて、“融”を共通テーマとする作品を展示いたします。今年は、日本、韓国、中国、台湾、マレーシア、スリランカ、バンコクから、合計 332 人の作家が参加しています。東アジアのアーティストたちが、このテーマをどのように捉え、ビジュアライズするのか、ご覧頂ければ幸いです。会場では、国内外の作家による個展も合わせて開催いたします。

基調講演「幾何学と芸術」

シュワーベ カスパー氏 (神戸芸術工科大学大学院教授)



1953年、スイスのチューリッヒ生まれ。父はグラフィック・デザイナー、画家である母のもとで育つ。シュタイナー学校を経て、独学で科学、芸術、デザインを学ぶ。幾何学アートのアーティストとして展覧会やワークショップを国際的に展開すると同時に、科学博覧会のアートディレクターとして活躍。フェノメナ展(1984年)、オイレカ展(1991年)、バックミンスター・フラー展(2002年)、ポルトガル万博スイス館、科学館テクノラマなど。1988年にチューリッヒに幾何学アートのフォーラム「AHAギャラリー」を設立。2006年に「ジオメトリック・アート」(工作舎)を出版。2002年から2003年まで神戸芸術工科大学特任教授。2004年から2015年まで倉敷芸術科学大学教授。2015年より現職。

ワークショップ「終わらない模様一麻の葉」

ツツミエミコ氏 (美術家)

音符や音楽記号を版画のエLEMENTとする版画家、アートディレクター。音楽のセッションのように参加する事で響きあうワークショップのチカラに注目し、和紙・漆・版画・伝統文様等の素材や手法をワークショップに取り入れている。今回は、日本の伝統模様「麻の葉」をフリーハンドで描き続けることで生まれる模様のハーモニーを体験するワークショップを行います。



主な出品作家



Huang Shuya (台北)



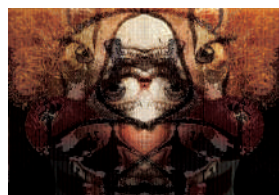
Xu Xinyu (天津)



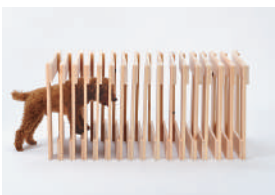
高橋美花



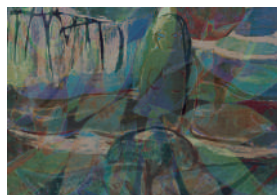
笠井則幸



Rajapakse Janaka (コロンボ)



南川茂樹



Lee Youngsook (ソウル)



【会場】

京都造形芸術大学 京都・瓜生山キャンパス
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

【お問い合わせ】

ANBD 東京事務局
〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1
玉川大学芸術学部デザイン研究室 担当/中島 tokyo@anbd.info

共催：アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン協会
アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン日本協会
京都造形芸術大学

後援：玉川大学
協力：日産グローバル株式会社
助成：本事業は、京都市及び公益財団法人京都文化交流コンベンションビューローの助成金を活用し実施しています。

